



1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立林野高等学校		
実践者等	西川 一美	実践日	令和3年6月7日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	家庭基礎		
対象生徒(学年等)	普通科1年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	被服製作(基礎縫いの確認)		
使用したアプリ等	Classroom、動画(基礎縫い)、Forms(振り返り)		
実践の概要(ねらい等)	被服製作における基礎縫いの事前・実習中の確認作業のため、動画をClassroomに貼り付け活用		
実践の内容			
<p>(1) 事前準備 授業前日までにClassroomに基礎縫い(並縫い・まつり縫い)の動画を資料としてアップし、各自で確認するように指示。(併せて教科書の該当ページも参考にするよう指示)</p> <p>(2) 前時の振り返り 前時に行った基礎縫い用の布の準備状況の確認</p> <p>(3) 本時の内容(基礎縫いの仕方)を説明 生徒に配信したClassroom上の動画をプロジェクターで黒板のスクリーンに投影する。生徒が予め視聴している前提で動画を流し、ポイントについて動画を適宜止めて説明する。教科書の該当箇所についても補足説明をしておく。</p> <p>(4) 実習 動画・教科書をもとに各自で実習を開始する。動画については、各自の端末で視聴しながら実習しても良いことを伝えておく。教員は机間指導を行い、支援が必要な生徒には実際に見せながら、丁寧に作業することを指示する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(5) 振り返り Formsで本時の振り返りをし、提出させる。</p>			
実践者の振り返り等	1クラス生徒33名で、半数程度は中学校までの経験で自ら縫うことができるが、残りの生徒は方法を忘れていたり、できないまま現在に至っている。個別指導していく中で、実習の補助として、1人1台端末を効果的に活用した。		